

川越市地域子どもサポート本部長・栗原博司さん（68歳・岸町1丁目）



子どもとの対話の場を作り出すのが「子どもサポート」

ことしから全市で始まった子どもサポート事業は、大人と子どもとの対話の場を創り出し、世代間の交流を行うのが目的です。インターネットなどの発達により、子どもたちは多くの情報を持っています。しかし、体験が不足しているため情報を生かすことができません。世代を越えた交流は、子どもたちが情報を生かす方法を身に付ける手助けになります。そして、子どもの自立を促すことにもつながります。

地域は、親子が気軽に参加できるような環境づくりをしなければなりません。例えば、自治会や育成会などで行っている催しを利用するのも1つの方法です。今まで行っている催しの対象を広げることで、参加する機会を増やすことができます。また、伝統文化や歴史を教えたり、防犯や防災活動などに参加したりして、子どもたちに地域への関心を持ってもらうことも重要です。

地域内の交流を活発にする。そのためには、大人も勉強する必要があります。地域のために使った労力や時間は、必ず地域の子どもの返ってきます。地域を1つの家として考え、子どもの話を聞く場を数多く用意する。この活動が継続すれば、大きな力となります。今後は、それぞれの地域間で交流を持ち、それを地域に活用する仕組みづくりも考えていきます。「子どもサポート」は、家庭の理解と協力なくしてはできません。ぜひ、親子でいっしょに地域の催しに参加してみてください。

の理解を深めてもらうことができ、地域で参加する。それが「子どもサポート」の第一歩になりました。

「生きる力」をはぐくむ

モデル地区での取り組みは、子どもサポート事業が目指す目的へとつながります。子どもサポート事業に対する大人の理解が進むと、講演や催しへの参加者が拡大します。催しを実行する際に必要なボランティア活動は、中学生や地域の皆さんの新たな活動場所を作り出します。活動を通じて、子どもたちはそういった大人たちと同じ地域に暮らすことのすばらしさや、人とふれあう楽しさを学んでいきます。そしてボランティアはやがて、地域に欠かせない活動へ……。地域の活動は、しだいに皆さんの生活に根づいていきます。

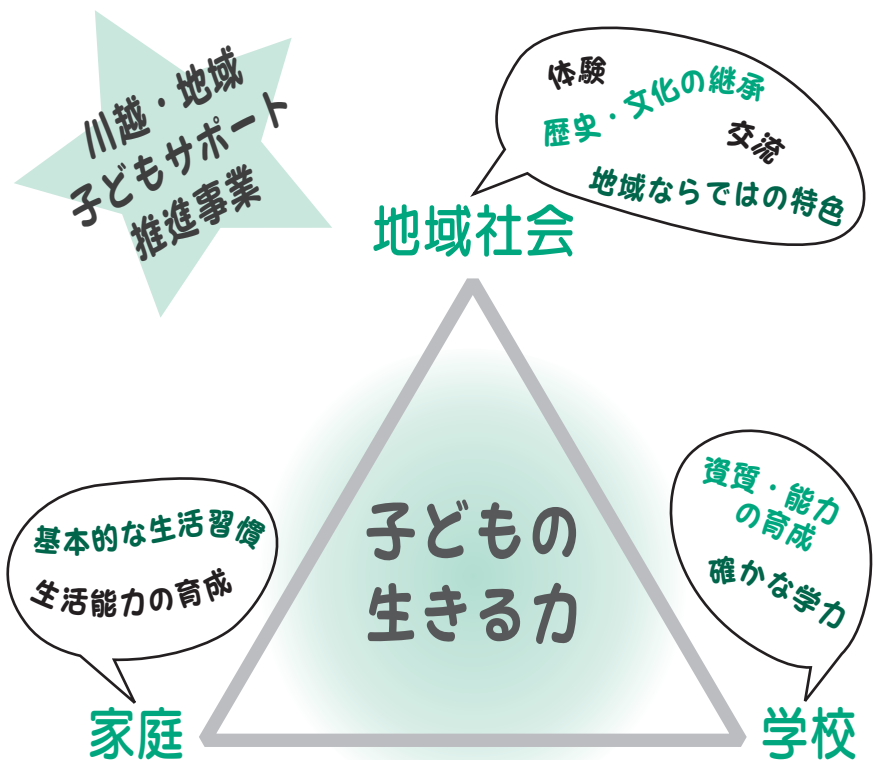
子どもサポート事業は、右下の図のように表すことができます。この事業の目的は、子どもたちの「生きる力」をはぐくむこと。この「生きる力」とは、単なる生命力ではなく、豊かな人間性や社会性

を形成することです。この目的を実現するためには、家庭・学校・地域社会の連携と協力が欠かせません。家庭は、基本的な生活習慣や生活能力をはぐくむ場です。学校は、子どもたちの将来の基礎となる確かな学力や、資質・能力を育成していきます。家庭と学校によって、子どもたちは生きていくため

に必要な基礎を身に付けます。そして、地域社会は、子どもたちに体験や交流の場を提供します。家庭・学校・地域社会が相互に連携・協力して、子どもたちは健やかに育っていきます。

子どもは地域を映す鏡

今年度から、いよいよ市内全域、十四地区で、地域の特色を生かした子どもサポート





東京国際大学副学長・遠藤克弥さん

子どもサポート事業とは、単に子育てに関する問題にとどまりません。地域自体の改革にもつながります。できるときにできることをするのが、サポートのあるべき姿です。見守るだけ、声をかけるだけでもいいのです。多くの人がかかわることに意味があります。子どもサポートを通じて、市全域で地域住民の皆さんの意識を改革し、地域そのものを改革しようとする試みは、全国的にも川越だけでしょ。

欧米社会は「個の社会」といわれていますが、個人主義ではありません。自己責任で活動しますが、必要なときには人が集まります。そして、ボランティアなどの社会活動を高く評価します。例えばイタリアは、日本と同様に共稼ぎが多く少子化が進んでいます。しかし学校が終わっても、子どもたちに宿題・サッカー・料理などを教えるボランティアが数多く存在します。親のためのガイドブックもあります。乳幼児を含めたすべての子どもが、地域のボランティアによって支えられているのです。

東京国際大学を含め、市内には4つの大学があります。これからの大学に求められるのは、教育・研究・地域貢献です。地域の資源として大学を活用し、世代間や異文化との交流を進めてほしいと思います。ミネソタ州（米国）には、公共施設などに「Proud Of Our Kids!（私たちの子どもたちは私たちの誇り!）」と書かれた立て札があります。これが、「子どもサポート」の最大の理念ではないでしょうか。

川越だけの試み。
「子どもサポート」で
地域を改革する

地域子どもサポート委員会と、連携する公民館など

	地区名	公民館など	中学校	小学校
北部ブロック	中央地区	中央公民館 中央図書館	川越第一中学校 富士見中学校	川越第一小学校 中央小学校 仙波小学校
	中央北地区	北公民館 市立博物館 市立美術館	初雁中学校	川越小学校 月越小学校 今成小学校
	芳野地区	芳野公民館	芳野中学校	芳野小学校
	山田地区	山田公民館	山田中学校	山田小学校
南部ブロック	中央南地区	南公民館 川越駅東口図書館	城南中学校 野田中学校	泉小学校 大塚小学校 新宿小学校
	大東地区	大東公民館 大東南公民館	大東中学校 大東西中学校	大東東小学校 大東西小学校 武蔵野小学校
	福原地区	福原公民館	福原中学校	福原小学校
東部ブロック	高階地区	高階公民館 高階南公民館	高階中学校 寺尾中学校 砂中学校 高階西中学校	高階小学校 高階南小学校 高階北小学校 高階西小学校 寺尾小学校
	古谷地区	古谷公民館	東中学校	古谷小学校 古谷東小学校
	南古谷地区	南古谷公民館	南古谷中学校	南古谷小学校 牛子小学校
西部ブロック	川鶴地区	川鶴公民館	川越西中学校	川越西小学校
	霞ヶ関地区	霞ヶ関公民館	霞ヶ関中学校 霞ヶ関西中学校	霞ヶ関小学校 霞ヶ関南小学校 霞ヶ関西小学校
	霞ヶ関北地区	霞ヶ関北公民館 伊勢原公民館 西図書館	霞ヶ関東中学校	霞ヶ関北小学校 霞ヶ関東小学校
	名細地区	名細公民館 下広谷南公民館	名細中学校 鯨井中学校	名細小学校 上戸小学校 広谷小学校

の活動が展開されます。子育てのために地域の力を十分に発揮することができるよう、一人でも多くの市民の皆さんの、ご理解とご協力をお願いします。

子どもたちの「生きる力」は、家庭を含めたその地域に住む皆さんと、学校・社会教育施設・自然・伝統行事など

によってはぐくまれます。地域内でさまざまな世代の人と出会い、いっしょに体験をすること。これは子どもたちが社会性を身に付ける、大きな手助けとなります。

子どもサポート事業を通じて、地域が子どもたちに関心を持ち、出会いや体験の場を提供し続けることができ

ば、そこで育つ子どもたちにもよい影響を与えることが、きつとできるはず。地域に住む皆さんの力は、そこで育つ子どもたちの「生きる力」を強くすることができます。それだけでなく、地域そのものも、みんなが楽しく安心して暮らすことができるようになっていくでしょう。